一般社団法人 巨樹の会

新久喜総合病院

Shinkuki General Hospital

総合案内

手には技術
頭には知識
患者様には愛を

24時間365日
断らない病院へ

24時間365日“断らない病院”へと生まれ変わりました。

平日のみならず、土日祝日、昼夜関係なく、病院を頼りにするすべての患者様に、全力で出来る限りの医療を尽くします。
当院での最善の治療はもちろんのこと、専門外での治療が必要とされた場合は、他の医療機関に責任をもって紹介をさせていただきます。
地域の皆様や連携診療先の信頼回復向上と医療の質向上に向けて全力で取り組みます。住民の皆様の「困った」が、少しでもなくなるように努めます。

断らない病院

[ごあいさつ]

平成28年4月1日、当院は埼玉県厚生農業協同組合連合会より移譲され、「新久喜総合病院」として24時間365日体制で“断らない病院”として新しく生まれ変わりました。

おかげさまで一日の救急車受け入れは20台前後となり、入院患者様も2倍に増えました。
久喜市民の皆様をはじめ、埼玉県の東北部の地域の方々に必要とされる病院となってまいりました。

これも久喜市の“急性期医療を再生させたい”という私たちの強い思いの中、カマチグループ全体で体制を整え協力した結果です。

今後もなお一層、地域に貢献できる病院を目指し、愛される病院となるよう職員一丸となって頑張ってまいります。

一般社団法人 巨樹の会 会長
蒲池 眞澄
Masumi Kamachi

一般社団法人 巨樹の会 代表理事
鶴崎 直邦
Naokuni Tsurusaki

新久喜総合病院 院長
岡崎 幸生
Yukio Okazaki

[基本理念]

手には技術　頭には知識　患者様には愛を

[基本方針]

高度医療

学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

総合医療

患者様の目線に立った安全で安心できる医療を提供すべく、急性期医療から、早期リハビリ、退院支援までニーズに沿った医療を提供します。

地域医療

いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた 地域の中核病院を目指し、地域の医療施設・福祉施設と密接な連携を推進します。

[患者様の権利と義務]

1. 平等な治療を受ける権利があります。

患者様は、その社会的経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されずに、平等な治療を受ける権利を持っています。

2. 治療を自己決定できる権利があります。

患者様は、医師による明確でわかりやすい言葉で十分な説明を受けた後で、治療を受ける権利、あるいは治療を受けることを拒む権利があります。

3. 情報を知る権利があります。

患者様は、医師による診断・治療、または変わり得る治療方法・予後、今後予測される問題に関して知る権利、また、御自身の診療記録の開示を求める権利があります。

4. セカンドピニオンを受ける権利とプライバシーが守られる権利があります。

患者様は、自分の医療内容に対して、医師と共同して選択する権利、他の医師からの意見・相談を得る権利、いかなる場合であっても人格的に扱われ、患者様自身の診療に関する全てのプライバシーに関して、万全の配慮を受ける権利を持っています。

5. 相談する権利があります。

患者様は、十分な情報を得、利用可能な財政的支援について相談する権利を持っています。

6. 良質な医療を速やかに受ける権利があります。

患者様は、効果的医療行為を速やかに行われることを要求する権利、継続的に支持、検討された質の高い医療を受ける権利を持っています。

7. 積極的に医療に参加する権利と協力する義務があります。

より良い医療を受けられるよう医療従事者と協力し、積極的に医療に参加する権利と他の患者様や医療従事者に支障を与えないよう配慮していただく義務があります。

救急科

当院は急性期病院であり病院全体で救急医療に取り組んでいます。このような体制の中、当科は集中治療室を管理しており救急患者の中でも生命に危機が及んでいる重症患者を治療の対象としています。具体的には昏睡、ショック、呼吸不全、腎不全、多発外傷、薬物中毒等といった疾患を対象にしており、救急隊からの搬送や他院からの紹介で、このような患者を積極的に受け入れています。管理に難渋している重症患者がいるようでしたら一度、救急科まで連絡をください。

救急車で搬送されるからといって重症とは限らず、軽症も含めた多様な疾患の診察、治療を行なっています。

診察の結果、専門科での診察、治療を受けたほうが良いと判断した際は当日もしくは後日、自院もしくは他院の専門科に紹介しています。

当院は、災害拠点病院であり災害が起きた際は自院で患者を診療するだけでなく、他院から患者を受け入れたりDMAT (Disaster Medical Assistance Team) を災害現場に派遣します。当科は、このような災害医療を当院の中心となって行います。

救急医療に関する off the job トレーニングも積極的に行なっており、蘇生トレーニングコースであるBLS/ICLSコースを年1回開催しています。病院前外傷教育コースであるJPTECには当科の医師がインストラクターとして参加し、当地域の外傷診療の向上に協力しています。

2013年3月には、災害医療の机上訓練コースであるエマルゴ演習を久喜市医師会主催のもと当院で開催しました。

外　科

当科では消化器がんと腹部救急疾患の診療に力を入れています。主な対象疾患と診療内容は、悪性疾患の食道がん、胃がん、大腸がん、膵臓がん、胆のうがん、胆管がん、肝臓がん、乳がん。各種がんに対する手術治療を行っていますが、病状に応じて内視鏡治療、抗がん剤などによる薬物治療、放射線治療、がんの苦痛を取り除く緩和的治療にも取り組んでおります。救急医療に積極的に取り組んでおり、救急部を中心に24時間救急患者さんを受け入れております。当科では救急部と連携し、上記疾患に対して緊急手術、緊急内視鏡治療、薬物療法を行っております。その他の疾患は、胆石症、そけいヘルニアなど腹部ヘルニア疾患。また、早期及び進行乳がんの診断、治療を行っています。しこりなどの症状がある方、検診で要精査となった方の精密検査から、乳がんと診断された方の拡がり診断・転移検索、手術、術前後の薬物療法、経過観察を行っています。

心臓血管外科

当院では循環器内科と連携を密にし、虚血性心疾患手術（冠動脈バイパス手術ほか）、弁膜症手術（弁置換手術、弁形成術ほか）、胸部大動脈疾患手術等の心臓及び胸部大血管手術を行っています。心臓及び胸部大血管手術以外では、腹部大動脈以下の末梢血管の手術（腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症ほかの治療）、重症心不全に対する補助人工心臓による治療等も施行しております。

以下項目にお心当たりがある方は、ぜひご相談ください。

①糖尿病・高血圧・高脂血症・喫煙・肥満・家族歴などの危険因子が多く血管病の状態が心配な方。

②過去に狭心症・心筋梗塞・脳梗塞・閉塞性動脈硬化症などの病気があり他の血管病が心配な方。

③過去または現在、狭心症・心筋梗塞・脳梗塞・閉塞性動脈硬化症などの病気を起こし、今後他の血管病の進行を定期的にみていかなければならない方。

内　科

消化器病を始めとして、風邪や肺炎、尿路感染症などの感染症、高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病、慢性的な呼吸器疾患など、あらゆる内科的疾患に対応していきたいと考えております。

必要があれば入院とし、他院も含め専門科への相談も行なっていきます。

また、日頃、体について不安に思うこと、疑問に思うことなどございましたら、お気軽に受診されてください。

身体的にも精神的にも満足のいく医療を目指します。

循環器内科

地域の循環器疾患をもつ患者さんに24時間365日、最新、最良、丁寧な医療が提供できるよう、血管造影室は2室、64列マルチスライスCT、ガンマカメラシステム、1.5T　MRI、血管内超音波システム、経皮的心肺補助装置など、最新の医療設備を整え、虚血性心疾患に対するカテーテル治療と不整脈に対するアブレーション治療を中心に、心不全、心筋症、心臓弁膜症、大動脈疾患に対応します。

当科の基本方針は、患者さんにも病気の知識を持っていただくため、選択肢としてどのような検査方法、治療方法があり、それぞれのメリット、デメリットを説明しています。それから最適な検査法、治療法をご提案させていただき、その中から患者さんにとって最適な選択をしていただくよう心がけております。

腎臓内科

腎臓内科では腎臓の働きに異常が認められる疾患を治療します。腎臓は、生命活動に伴う老廃物を尿中へ排出する機能に加えて、体液や骨を正常な状態に制御する機能を担っており、血圧異常や骨粗鬆症等の骨の異常、さらに貧血等にも腎臓の疾患が関与している可能性があります。健康診断等で腎機能異常や尿検査異常を指摘された場合に加え、このような異常を認める場合にも腎臓内科受診をお勧めします。

慢性に腎臓の疾患が進行している慢性腎臓病は症状が無く進行する可能性のある疾患です。慢性腎臓病である認識がなくとも、糖尿病や高血圧症の合併症として頻繁に認める疾患です。適切な治療を受けることで進行を予防することが必要です。

腎臓疾患の進行が不可逆的なことが多く、慢性腎臓病が進行すると人口腎臓（透析）の助けが必要となってしまうことがあります。当院では透析科で透析導入をサポートします。

当院の腎臓内科では腎臓専門医に加え、高血圧専門医、内分泌専門医としての経験に基づき腎臓疾患に対する適切なアドバイスを提供致します。

神経内科

神経内科の病気には、厚労省の特定疾患である重症筋無力症、多発性硬化症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統委縮症、筋委縮症をはじめ、年配の方に多いアルツハイマー病や脳卒中、しびれの原因となる末梢神経炎、立ちくらみの原因となる自律神経障害など、多くの疾患があります。

神経内科では、脳卒中、パーキンソン病、脊髄小脳変性症などの神経疾患治療を行っています。また、眼瞼けいれんなどに対するボトックス注射も行っています。頭痛やめまい、手足のしびれやふるえの症状をお持ちの方、アルツハイマー病などの認知症疾患についてはご相談ください。

脳神経外科

当科は久喜総合病院開院と同時に本格的な診療体制をスタートさせました。脳神経外科専門医がチームで診療体制を敷き、急性期脳卒中をはじめとする脳・脊髄疾患全般に対して、最良の治療を提供すべく日夜努めています。CT、MRI、脳血管造影などの画像診断機器を駆使し、病態の診断を迅速に行い患者さん一人一人の状況を考慮しつつ、最も適切な治療法を選択し実施しています。

手術室においては、MEP、SEPなどの各種電気生理学的モニタリングや、術中ICG(インドシアニングリーン)蛍光血管造影を用いて、より安全確実な手術を行っています。特にくも膜下出血をはじめとする急性期脳卒中や未破裂脳動脈瘤の治療に関しては、経験を積んだ専従チームにより、大学病院レベルに勝るとも劣らない医療を提供できるものと考えています。また、水頭症、脳室内腫瘍などに対して神経内視鏡エキスパートによる、より低侵襲な手術が行われています。

形成外科

身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質“Quality of Life”の向上に貢献する、外科系の専門領域です。体表を治す外科であり、主として身体外表の形態異常、醜形、欠損を治癒し、形態的、機能的に正常に近再建する他の外科には無い特徴があります。当院では、熱傷、顔・体幹・手足の先天異常、鼻骨骨折や頬骨骨折などの顔面骨骨折および顔面軟部組織損傷、皮膚良性および悪性腫瘍、瘢痕、ケロイド、皮膚難治性潰瘍、褥瘡、眼瞼下垂、睫毛内反症など、形成外科全般を取り扱っており、疾患によって当院各科や大学病院と連携して治療にあたっております。

また、小さな皮膚腫瘍など保険診療で局所麻酔日帰り手術も行っております。
お気軽に御相談ください。

整形外科

当院の整形外科では、膝・肩などの関節の痛み、リウマチなどの慢性的疾患と、交通事故・スポーツなどによる外傷などの診断・治療を行います。24時間365日緊急手術対応しており、検査に問題がなければできるだけ早期に手術を行うように努めています。

慢性期疾患である変形性膝関節症や変形性股関節症に対しては、投薬やリハビリテーションに加え、近年進歩が著しい人工関節置換術を中心とした手術療法を行っています。これは、関節の痛みの原因となる部分を取りのぞき、人工の関節に置き換える手術です。

また、関節鏡を用いた肩や膝の手術も行います。肩の痛みのある方の中には、四十肩や五十肩と自己診断して病院に行かれない方も多いのですが、中には肩の筋肉が拘縮したり腱板断裂で手術が必要な方もおられます。また、スポーツ外傷に多い膝の前十字靭帯断裂や半月板損傷にも、外部の正常組織の損傷の少ない関節治療を導入しています。

耳鼻咽喉科

私たちの診療科では耳、鼻、のど(咽頭・喉頭)、くび(頸部)などの炎症、腫瘍、外傷などを主に診療しています。また、きく(聴覚)、におう(嗅覚)などの感覚器や、話す(発声)、食べる(摂食・嚥下)などの機能をつかさどる器官を取り扱う診療科でもあります。

病気を治すため、あるいは生きるために必要な手術、処置はもちろん大切です。一方、よりよく聞きたい、自分の声を出したい、自分の口で食べたいといった、生活の質を高めるための医療も重要視されるようになってまいりました。医師不足や偏在化、夜間救急の問題など、医療を取り巻く環境は非常に厳しくなっていますが、耳鼻咽喉科医として力になれるよう、誠心誠意努力いたします。

当院の特徴として、一般的な治療(例えば慢性副鼻腔炎や扁桃炎、中耳炎、声帯ポリープ、頸部腫瘍など)は、日常診療において当院で大変多く行われております。

放射線科

放射線科ではCT、MRI、核医学、X線検査などの検査を最新の装置で行っています。画像診断は放射線診断専門医によってなされ、検査結果の報告書が翌診療日までに作成されます。

これまでに培ってきた豊富な経験と知識を活かして、丁寧な読影とわかりやすい報告を心がけています。

さらに脳神経医学と核医学およびIVRは、専門家の非常勤医師の協力を得ており、質の高い診療がなされています。医療連携で地域の医療機関からの検査も承っており、迅速な対応をしております。

放射線科医、診療放射線科技師および看護師が、皆様の検査を安全に安心して受けて頂けるように常日頃から努めています。

麻酔科

麻酔科では安全で安心な麻酔と痛みの少ない快適な手術後を心がけています。12歳以上からお年寄りまで、さまざまな患者さんに安全で安心な麻酔を受けていただけるようにスタッフ一同努めています。

さまざまな合併症や持病のある患者さんにも、より安全に手術や麻酔を受けていただけるように、追加の検査や事前の治療を行うなど、きめ細やかな対応を行っています。手術後の痛みを少しでも軽減できるように、様々な方法と薬剤を用いた鎮痛方法を提供いたします。全身麻酔を受ける患者さんには、麻酔科専門医から手術の内容や患者さんの身体の状態にあわせた麻酔方法と鎮痛方法を提案し、詳しく説明させていただき同意をいただいたうえで実施しています(全身麻酔はすべて麻酔専門の医師が行っています)。平日の夜間は毎日、休日(日中もしくは夜間のいずれか)も麻酔科医師が院内に待機し、緊急手術に対応しています。

呼吸器外科

当科では、〈1〉肺腫瘍性疾患(原発性肺癌、転移性肺腫瘍、良性腫瘍)、〈2〉胸膜疾患(気胸、縦隔気腫)、〈3〉呼吸器感染症(肺炎・胸膜炎、膿胸)、〈4〉胸部外傷(肋骨・胸骨骨折、血胸)、〈5〉縦隔腫瘍性疾患等を担当します。わが国における死因のトップは悪性新生物ですが、その中でも中高年を中心に発症する肺癌での死亡は最も多く7万人を超えています(厚労省人口動態統計平成27年度)。「肺癌」の治療成績の向上のため、健診部門との連携による早期発見・早期治療のもとより、治療に際しても、手術、全身化学療法、放射線療法などの集学的治療を行っています。その他、救急医療に関しても積極的に取り組んでおり、若年者を中心として発症する「気胸」、高齢者の肺炎の悪化から発症する「膿胸」、突如として見舞われる「胸部外傷」の治療など、幅広い年齢層にわたる疾患を各診療科と共にそれぞれの患者さんに寄りそった治療を行って参ります。

病理診断科

“見えないモノ”を“見えるカタチ”に。病理診断科は、病気の診断・治療・経過の指針となる患者様の情報を臨床の現場へ提供することを業務としています。当院検査科では24時間・365日常に臨床検査技師が常駐し、昼夜問わず質の高い検査の提供を行っています。

病理検査室では、組織検査、細胞診検査、術中迅速検査、病理解剖を行っており、必要に応じて、免疫染色や電子顕微鏡的検索・PCR等の分子生物学的手法を用い、より的確な診断が行えるように心がけています。

また、CPCやキャンサーボード、各種カンファレンス等を積極的に行い、臨床各科や他部署との意見交換や連携を深め、より適切な診断・治療が行えるように協力しています。

婦人科

婦人科の一般的な症状に対し、幅広い診断と治療を行っております。また、子宮頸部・子宮体部・卵巣腫瘍の診断と手術・放射線・抗がん剤治療・セカンドオピニオンについては、専門医の資格を持った医師が、最新の医療に基づいた正確な診断をし、さらに他科と連携をとりながら適切な治療を行います。

治療においては、“生活の質”に配慮した治療を心がけており、治療後の経過観察と支援も行っております。少ない病床ではありますが、十分に活用しつつ、診療の質を永く保てるように努めています。腫瘍以外では閉経期障害診療・ホルモン補充治療の潜在需要に注力していきたいと考えています。

乳腺外科

当院では、乳がん、乳腺腫瘍の診断、治療を行います。しこりなどの症状がある方、健診で要精査となった方の精密検査から、乳がんと診断された方の拡がり診断・転移検索、手術、術前後の薬物療法、経過観察、転移再発乳がんの薬物療法を行います。患者さんを中心とした集学的治療を各科・診療部門が連携して診療にあたります。

その他、線維線腫や葉状腫瘍などの良性疾患の診断、製菓観察、治療も行っています。乳房温存術後や転移再発時の放射線治療も当院で実施可能です。

また、他院で診断・治療を受けられた方で、当院への転院をお考えの方や治療の一部を当院で行うことを希望されている方にも可能な限り対応しますのでご相談ください。

特徴的な取組み

透析センター

当院には、26床のベッドと27台のコンソールを有しており、血液透析療法を中心とした血液浄化療法を提供しています。各ベッドにはテレビを備え、男女別更衣室には個人用のロッカーを設置しています。主に慢性腎不全に対する血液浄化を行っておりますが、その他にも急性期や重症の患者様に対する各種血液浄化や血漿交換療法等にも取り組んでおります。

また入院・手術が必要な合併症等の発症時には、当院各診療科の専門治療を受けながら透析を行うこともできます。

D-MAT

DMATとは「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、

災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略して**DMAT（ディーマット）**と呼ばれています。

医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

いつ、どこにでも起こりうる大災害に対して、被災者の皆様を支援できるよう訓練を続けています。

※平成13年度厚生科学特別研究「日本における災害時派遣医療チーム(DMAT)の標準化に関する研究」報告書より

人間ドック

人間ドックは自主的におこなう健康診断です。糖尿病、高血圧症、高脂血症などの生活習慣病やがんは、かなり進行しないと自覚症状がありません。これらの病気を早期に見つけて、治療を始めれば治癒が期待できます。人間ドックは詳しい検査を多項目にわたって行い、多くの病気の早期発見に効果があります。

日帰り人間ドック

尿検査、身体測定、大腸がん検査、血液検査、眼科検査、超音波検査、循環器系検査、肺機能検査、放射線検査(胸部レントゲン、胃バリウム)、聴力検査、内科診察、泌尿器検査(前立腺腫瘍マーカー：女性の場合、卵巣等の腫瘍マーカー)、その他

料金の目安：¥45,360

脳ドック、肺ドック、消化器ドック等、多数のオプション検査(別料金)もご用意しております。詳しくはHPの人間ドックコースをご覧ください。

回復期リハビリテーション病棟

脳血管障害や骨折の手術などのため急性期で治療を受けて、病状が安定し始める頃、発症から1～2カ月後の状態を「回復期」といいます。この回復期といわれる時期に集中的なリハビリテーションを行なうことで、低下した能力を再び獲得するための病棟です。

対象の患者さまに対して、機能の回復や日常生活で必要な動作の改善を図り、寝たきり防止と社会や家庭への復帰を目的としています。患者さまの疾患発症の内容や、現在の状態を考慮し、一人ひとりに適切な内容のリハビリテーションプログラムが組まれ、医師、看護師、看護補助者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士等が共同し、集中的なリハビリテーションを提供しています。

対象患者

- ○ 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血の シャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、又は義肢装着訓練を要する状態
- ○ 高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷
- ○ 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、又は2肢以上の多発骨折の発症後、又は手術後
- ○ 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後

発症からの期間 2ヶ月以内

- ○ 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後
- ○ 股関節又は膝関節の置換術後の状態

発症からの期間 1ヶ月以内

訪問看護

24時間連絡がとれる体制をとっています。状態に応じて必要な時は、休日・夜間でも緊急訪問が可能です。在宅で安心して療養生活が送れるよう、主治医と連絡をとりながら支援いたします。

対象地域・その他

旧久喜市、旧菖蒲町、旧鷲宮町、幸手市の一部、加須市の一部、白岡市の一部、杉戸町の一部、宮代町の一部　※上記以外の方でもご相談お受けします。

事業所番号 ／ 介護保険1166190011、医療保険1166190011
営　業　日 ／ 月～金　8:30～17:00
休　業　日 ／ 土曜日、日曜日、国民の休日、10月13日(創立記念日)、12月29日～1月3日(年末年始)

訪問看護師 ／ 5名
連　絡　先 ／ TEL 0480-44-8304(直通)
FAX 0480-24-6531(直通)

看護師が、主治医の指示に基づき在宅で看護を行います。健康状態観察、床ずれ予防や処置、カテーテルなどの医療機器の管理、寝たきり予防など。患者さんのお世話の仕方や介護のお手伝い、主治医との連携、看取り支援など。小児や精神の訪問看護も相談に応じます。訪問看護回数は状況に応じて検討させていただきます。利用料金については、お問い合わせ下さい。

在宅ケア

在宅で療養する医療が必要な人とその家族が、不安なく毎日を過ごすためには、医療機関による切れ目のない細やかな支援体制が必要です。医学的管理、医療処置が必要な在宅患者様のために、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士などが連携、協力して、口から食事をとれないときに行なわれる中心静脈栄養法や、経腸栄養法などの在宅栄養管理、動脈内注入化学療法や全身化学療法などの在宅化学療法など在宅での療養を支援します。

原則として、計画的に月2回またはそれ以上訪問して診療をし、この他に、急な発熱など症状が変わったときには、必要に応じて助言や往診をします。受け持ちの患者様に対しては、24時間365日休みなく対応しており、連携先の病院に対しては、随時、療養者の情報を提供しています。

リハビリテーション科

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師、看護師、ソーシャルワーカーで連携をとりながら、患者さんの回復をサポートできるよう、約100名のリハビリスタッフを配置し365日体制でリハビリを行います。入院中は今までの生活と比べ安静の時間が多く体力が落ちてしまいます。手術翌日やICUからの積極的なリハビリはもとより、リハビリ時間以外の活動にも注目し、運動量を確保することで安心してご自宅に帰れるように支援いたします。

理学療法(PT)
〈理学療法士 約60名〉

運動療法・物理療法を用いて、「起きる・座る・立つ・歩く」などの基本的な動作能力の改善を図る訓練を行います。また、必要に応じて補装具などの作製を行います。

作業療法(OT)
〈作業療法士 約30名〉

基本的な動作訓練、「着替え・排泄・整容」といった日常生活動作の訓練、家事動作訓練などを行い、円滑な自宅生活を送れるようにサポートします。また、作業活動を通して身体的・心理的な回復を促します。

言語聴覚療法(ST)
〈言語聴覚士 約10名〉

コミュニケーションに障害をもった患者さんに言語、発声・発音等の意思疎通を図る訓練を行います。また、飲みこみの障害のある方には食事方法や形態の工夫を行い安全な食事をお手伝いします。

【主な医療設備】 各種物理療法機器(ホットパック、低周波治療装置、超音波治療器、渦流浴装置、牽引装置など)、パワーリハビリテーション機器(ホリゾンタルレッグプレス、レッグEXT/FLEX、トーソ、EXT/FLEX、ヒップAB/ADD、ローイングMF、チェストプレス)、NUSTEP、トレッドミル・自転車エルゴメーター・平行棒・レッドコード一式、各種作業療法評価・訓練機器(コース立方体、STEFなど)、言語聴覚療法評価・訓練機器(SLTA、WAB失語症検査、レーヴン色彩マトリックス検査など)

【施設基準】 脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅰ)、運動器リハビリテーション(Ⅰ)、呼吸器リハビリテーション(Ⅰ)、心大血管リハビリテーション(Ⅰ)、がんリハビリテーション

臨床工学科

臨床工学技士が誕生してから約30年の月日が経ちました。我々の業務も多種に渡って増えてきております。生命に直接かかわる機器を操作・管理する当科の業務は、何事にも信用が大事です。様々な検査・治療に対して、医師・看護師・コメディカルの皆様に頼られるように迅速な対応に努めています。

患者様をはじめ病院スタッフが安全かつ安心して医療機器が使用できるよう、日々保守、管理し、高度な治療や検査に24時間365日対応できる体制を整えています。

薬剤科

薬剤部では、チーム医療の一員として患者さんが安心して薬を使用していただけるように、さまざまな仕事をしています。基本院内処方を行い、多数の薬を服用している場合(自動分包機を使用して)1回に服用する薬を1包にまとめてパックすることもできます。院外処方をご希望の方はあらかじめ診察時に医師にお申し出ください。患者さんのために、お薬相談室を開設し、薬に関して不明なこと、疑問点がありましたら遠慮なくご相談ください。プライバシーに配慮して個室でのお薬相談もできます。

患者さんごとに注射薬を取り揃え、安全性を確認して病棟や外来に供給しています。抗がん剤に関しては、薬剤師が安全キャビネットを使用し無菌状態で混注を行っています。入院患者さんのベッドサイドで、薬の用法、効果、副作用などの説明をしています。病棟の医師、看護師と協力して患者さんがより安全で適切な治療が受けられるよう、活動しています。

臨床検査科

当院の検査技師は、最新医療機器の特性を最大限に引き出し、検査結果を正確に提供するために、日々研鑽に努めています。

臨床検査科では、検体検査部門、生理検査部門、病理検査部門がありますが、すべてに共通していることは、迅速性と正確性です。365日24時間稼働させることにより、一般診療、救急医療、地域医療の貢献に役立てるよう、取り組んでいます。

- **●生理検査部門**：最新の超音波診断装置も導入し、心臓、腹部、乳房、血管などあらゆる部位の検査に対応しています。
- **●検体検査部門**：各種の検査装置を導入し、バックアップを充実。迅速かつ正確なデータを24時間体制で提供しています。
- **●病理検査部門**：組織診・細胞診ともに、迅速かつ正確な診断を提供しています。また術中迅速組織診、様々な特殊染色、病理解剖にも力を入れています。

栄養科

入院中の患者さんに、安心して、おいしい食事を食べていただくために、また、療養中皆様の食事面での相談や治療のお手伝いを、栄養科職員一同誠心誠意がんばっています。

主な業務・栄養指導

入院中のお食事のご提供

(常食、軟食、治療食など)
朝食・昼食・おやつ・夕食など。

管理栄養士による栄養指導・相談

いつでもお気軽にご相談ください。
月～金／14:30-16:00

※土曜日は相談により対応しますが、原則として午前中のみとなります。
お問い合わせ先 ／ 医療技術部　栄養科
受　付　時　間 ／ 月～金　8:30-17:00
連　　絡　　先 ／ TEL 0480-26-0033 (内線:2191)

「患者さんに笑顔と安心を届けたい」という思いを大切に、質の高い看護の提供ができることを目指しています。

看護部 理念・方針

心 私たち看護師は、患者様に一番近い存在です。患者様が最善の治療を受けられるように患者様の立場に立って考え行動します。

智 私たちは専門職として、質の高い看護を提供するため自己研鑽に努めます。

和 私たちは、チーム医療の要として他職種と患者様を繋ぐ役割を果たします。

1. 患者様を尊重し、患者様個々のニーズに応じた質の高い看護サービスを提供いたします。
2. 看護の専門性を発揮し、チーム医療の中での役割を果たします。
3. 医療事故を予防し、安全で快適な療養環境を提供します。
4. 社会の変化に対応して、自主的に学習する態度と社会人としてよい習慣を身につけます。

[看護部長のあいさつ]

看護部長
早川 明美

信頼される看護師を目指して。

当院は、平成28年4月から「断らない医療」をスタートしました。

「断らない医療」を実践するためには、熱い思いが必要です。私たち看護師は、患者様に一番近いところに居ます。患者様一人一人を自分の「家族」と考え、患者様やご家族に向かい合い、患者様の視点に立ち、最善の医療・看護を提供出来るよう日々努力しています。

当院の特徴は、急性期から回復期、訪問看護までトータルに学び継続看護を実践できるところです。それには、日々の学びが重要です。専門医からの講義、認定看護師からの実践的講習会等、当院は学ぶことへのサポートが充実しています。

外部の一般的な研修・管理研修・認定看護師等長期研修の研修費も公費で受講できます。外部研修に参加し知識を深め、それを院内で共有し全体でレベルアップできるようにしています。

また、新人看護師教育はプリセプター制度を導入しています。プリセプター＆プリセプティーが共に成長できるようアソシエイトがアシストします。プリセプター＆プリセプティーには、公私ともに充実できるよう2人の食事会などもあります。

是非、私たちと一緒に学びながら成長しましょう!!

＜看護部組織体制＞

看護師数	約341名（平成29年4月現在）
看護単位	10単位
勤務体制	2交代
看護基準	一般病棟　194床　7:1看護
	ICU　8床　2:1看護
	回復期リハビリ病棟　98床　13:1看護
看護方式	固定チームナーシング
看護記録	SOAP

[教育目的]

看護の対象に、安全で安心と納得のできる看護を継続的に提供する。
専門職として自覚を持つ。
人間性豊かで、主体的に医療チームの連携を図ることができる看護師を教育する。

[教育目標]

専門職として必要な知識・技能の向上に努め根拠に基づいた看護能力を養う。
看護のニーズを的確に把握し、変化に柔軟に対するためにアセスメント能力を養う。
看護の対象に誠実な態度で関わり、信頼関係を築ける人間性を養う。
医療チームの一員として役割を自覚し、相手の立場を考えて行動することができる。
一人一人が主体性を持って、生き生きと看護実践に臨める教育目標。

[看護部取り組み]

プリセプター制度…3日目・3週間目・3ヶ月目にプリセプターと食事会を通し公私ともに相談できる機会となっています。そして、ともに成長しています。

看護学生教育…実習指導を通し看護の楽しさ、やりがいを伝えています。指導者も看護学生に関わりながら日々学んでいます。

ふれあい看護…看護師を目指す、高校生や一般の方に看護体験をしていただけます。(毎年8月実施)

インターンシップ…看護学生さんを対象に看護体験を行っています。(毎年3月実施)

[人財育成]

新久喜総合病院在籍 認定看護師　新久喜総合病院に在籍している認定看護師を紹介します。

重症集中ケア看護師
中川 さつき

認定看護師としてすべての患者様に対し『安心・安全』な看護の提供ができる環境を整えていくことを目標としています。多くのことを学べる環境でもありますので充実した職場で一緒に働きましょう。

重症集中ケア看護師
白川 大仁

集中治療室では、重症患者様が多く呼吸・循環・意識・代謝という専門的かつ他覚的なアプローチが必要です。認定看護師として治療環境が強くなりがちな患者様の『生活の場』の環境作りを心がけています。様々な経験ができ充実した学習環境で、皆さんも私たちと一緒に楽しく働いてみませんか？

感染管理看護師
高平 裕樹

感染管理者には、患者様はもちろんのこと面会にいらっしゃる方、病院で勤務される医療従事者にとって安全で安心した生活が送れるような環境、そしてより良い医療が提供できるような環境が求められます。そのために、職員一人ひとりが感染対策の重要性を理解し、病院全体で感染対策に取り組んでいく必要があります。組織横断的に活動することで全職員が協力し、感染対策に取り組んでいけるよう日々活動しています。皆さんも新久喜総合病院で一緒に働きませんか。

脳卒中リハビリテーション看護師
渡部 真由美

脳卒中は突然に発症し、様々な機能障害を起こします。そして突然のことで患者さま・ご家族の方も精神的に大きな不安を抱える方が多くいらっしゃいます。

全国における寝たきりになる原因の第一位は脳血管障害です。脳卒中リハビリテーション看護師の役割は、脳卒中によって機能障害を抱えた患者さまのADL・QOLを向上させ、生活の再構築を行うことが大きな目標であり、その為には発症後の重篤化回避の為のケアやモニタリング、そして合併症の予防、発症早期からリスク管理を行いながら早期離床に取り組み、リハビリスタッフと協働しながら患者さまへのリハビリテーション看護に取り組んでいます。

認定看護師として、しっかりとした根拠を持った看護を行い、看護技術や知識を共に働く院内の看護師に伝え、機能障害を抱えた患者さまやそのご家族がより負担の少ない生活に戻れる援助をチームで看護していきたいと思います。

地域医療連携

地域医療連携とは、地域の病院や診療所がお互いに円滑に連携し合い、それぞれの医療機関の特長を有効に活用することにより、地域の皆様方に負担の少ない継続性のある最適な医療を、地域全体で提供する取り組みのことです。

当院ではこのような医療連携を進めており、受診時から入院、退院まで包括した支援を行い、安心して頂けるよう「地域医療部」を設置し業務を行っています。

[医療相談課のご案内]

医療相談課とは、病気になると、健康なときには思ってもいなかったようないろいろな問題が起きてきています。当院では、皆様の悩みや問題を一緒に考えていく専門の相談員(医療ソーシャルワーカー)がいます。相談内容については、秘密を厳守しておりますので安心してご利用ください

[相談内容]

○経済的な心配ごと
○入院生活についての心配ごと
○退院後についての心配ごと
○社会福祉制度や保険制度の活用

[ご利用方法]

医師・看護師など、病院職員にお申し出ください。電話でのご相談もお受けいたします。相談予約の連絡をいただくとスムーズです。また、入院時の看護師の聞き取りで早期にお手伝いが見込まれる患者さまには、こちらからご連絡させていただいています。

[地域医療課のご案内（医療連携）]

地域医療課とは、医療の機能分担や専門化を進め、当院と各医療機関・各施設等がお互いに円滑に医療連携を進める為の窓口として、業務を行っています。

地域医療課では、かかりつけの先生や地域の医療機関、施設等と連携して診療・検査及び入院が必要な患者様の受け入れを行っております。ご不明な点がございましたら、お気軽に地域医療課(連携室)までお問い合わせください。

[健康教室]

地域住民の方へ向けて、健康教室を開催しております。
健康教室を通じて当院の医師や看護師、医療技術部、事務部による講演（教室）を行い、病気のことから、早期発見・早期治療、病気にかからないための予防（健康体操など）、医療に関する内容を分かりやすく啓蒙しています。

[医療連携の会（学術講演会）]

地域の医療機関の先生方や医療スタッフの方・救急隊の方との交流の場として、定期的に担当診療科別に症例報告を兼ねて、地域の各医療機関の先生、職員の方、各救急隊の方々を対象に連携会を開催しております。
また、外部からも著名な先生方を講師としてお招きし、特別講演を行い、地域全体で、より専門的な医療知識の向上にも努めています。

臨床研修医制度

[教育指導の特徴]

- 救急車が年間6,000件搬入され、多くの症例に接し、学ぶことができます。
- 年間手術が約2,500件実施されています。
- 研修期間に、カンボジア短期留学制度、アンコール小児病院の研修があります。
- 多彩な急性・慢性疾患について病棟ベッドサイドでの臨床指導を行います。
- 他科との壁が存在せず、他科医とも気軽に話しができます。

[研修の特徴]

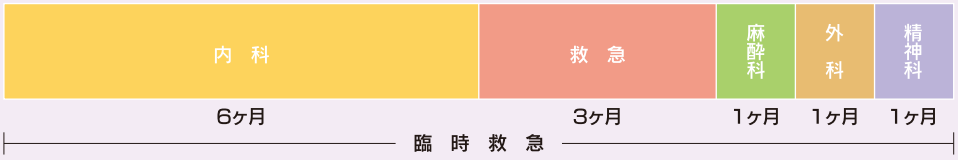
現在の地域の医療需要に対応するプライマリ・ケアの能力に優れた医師を養成するために、総合診療方式において研修を行います。当院のプログラムでは、研修医が将来、専門でない分野における臨床経験が不十分なまま医師とならないように、専門分野の疾患の治療と共に、医師として、患者様及び家放の方々の抱える様々な身体的・心理的・社会的問題を認識・判断し、問題解決を図ることができるような能力、つまり全人的に患者様を診療する能力を身に着けることを目指しています。

研修プログラム名称

[新久喜総合病院 卒後臨床研修プログラム]

[ローテイト例]

1年目



必須科目：内科（6ヶ月）、救急部門（3ヶ月）、外科（1ヶ月）、麻酔科（1ヶ月）、精神科（1ヶ月）

2年目

必須科目：地域医療（1ヶ月）、小児科（1ヶ月）、産婦人科（1ヶ月）、選択科目（9ヶ月）

[基幹型臨床研修病院]

- 新久喜総合病院（内科・救急・麻酔科・外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・形成外科・腎臓内科・循環器内科・放射線科・心臓血管外科科）

[協力型臨床研修病院]

- 熊谷総合病院（小児科・地域医療）
- 芳賀赤十字病院（産婦人科）
- 深谷赤十字病院（産婦人科）
- 羽生総合病院（産婦人科）
- 済生会鴻巣病院（精神科）

[臨床研修協力施設]

- 新上三川病院（地域医療）
- 所沢明生病院（地域医療）

院内の施設紹介

[1階フロア]

1階エントランス部分は吹き抜けになっており、2階の天井部から差し込む外からの光が、館内全体を明るく包みます。

[待合室]

外からの優しい光があふれる待合室。
リラックスした気持ちでお待ちいただけます。

[自動受付機]

再来の方は、自動受付機でスムーズに受付をしていただけます。

[総合受付カウンタ]

初診・再診の受付からお会計、各種手続きなどに対応しています。
ご不明な点や、お困りの事があれば、お気軽にご相談ください。

[自動精算機]

窓口だけでなく、クレジットカードもご利用いただける自動精算機を備えていますので、待ち時間を短縮できます。

[カフェ]

コンビニエンスショップの奥に、焼きたてのパンをお楽しみいただけるカフェを設けています。

営業時間／平　日　8:00～18:00
　　土曜日　10:00～16:00
定 休 日／日・祝日

[売店]

売店としてはもちろ日ん、ゆうパックやFAXのサービスもあります。公共料金などの支払いもできます。

営業時間／平　日　7:30～19:30
　　土曜日　8:00～18:00
　　日・祝日　8:00～18:00

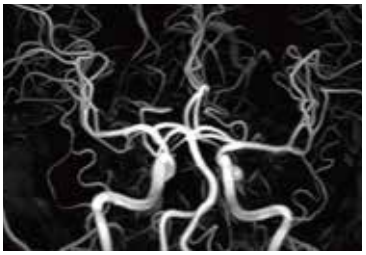
高度先端医療機器

CT（320列CT）

世界最高水準の性能をもつ320列CT装置導入により、脳や心臓などが瞬時に撮影可能となりました。また、造影剤量を最小限に抑えることができ、さらには放射線被ばくの大幅な低減により患者さまの負担も軽減することができます。
今回の導入により、更なる最先端医療を提供いたします。

MRI（磁気共鳴画像）

最新・高水準3テスラ、1.5テスラの装置を2機導入し、24時間いつでもあらゆる部位の検査を可能とします。最新システムにより、全身の各臓器・血管形態はもとより、心臓、心血管に対しても非侵襲的に描出することを可能としています。

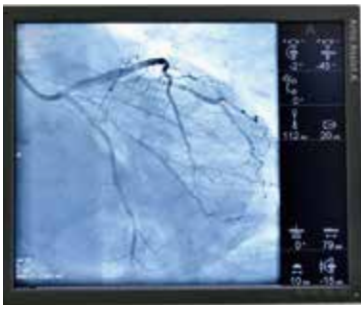


リニアック（放射線治療装置）

癌の根治的治療、癌の集学的治療、癌症状の緩和治療に。
全身のどの部位でも治療が可能な装置です。正常組織への悪影響を極力抑えながら、癌を破壊したり進行を抑制したりする効果を与えます。治療を受ける際は、10〜20分間、仰向けに静止して寝ているだけで、身体への負担感じることはありません。

アンギオグラフィー（血管造影装置）

脳・心臓から四肢にいたるまで、全身の血管を細部までくまなく描写することを可能とした装置です。また、描写だけに留まらず脳血管障害、心筋梗塞ならびに交通外傷等に対する最先端「血管治療」にも威力を発揮します。



教育研修・海外交流

海外研修など幅広い活動で、人材育成に力を入れています。

- アメリカ研修
- オーストラリア研修
- ドイツ研修
- カンボジア小児病院研修及びボランティア活動

新人職員の卒後教育、幹部養成教育への取り組みとして、各チームごとのミニ研修から学識経験者等を招いての講演会、さらに海外研修まで幅広く研修活動を行っています。また、米国スタンフォードで研修制度をはじめ、国内外の研究発表にも積極的に参加。医局、看護部を問わず、毎年数十件の論文、研究発表を行っております。

アンコールフレンズ基金

アンコール小児病院は、アンコール・ワットで有名なカンボジアのシェムリアップ市に、1999 年 1 月に開院しました。ニューヨークに本部を置くフレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー（国境のない友達）の最初のプロジェクトとして建設された病院です。ニューヨークの写真家井津建郎氏が、アンコール・ワットの遺跡の写真を撮っていた時、周りに大勢の子供たちが集まってきました。子どもたちの中に地雷で手足を失ったり、顔が傷ついた子どもたちを見て、「傷ついた子どもや、マラリア、デング熱にかかっても、貧しさのため治療が受けられない子どもたちのために、小児病院をつくろう」と決心したのがきっかけです。私たちは、フレンズ JAPAN の理事長であり医療顧問である当病院のカマチ会長をはじめ、職員全体で支援しています。

1 年間、一口 6,000 円のアンコールフレンズ基金を設立しましたので、ご協力をお願いします。

■認定 NPO 法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN
TEL/FAX：03−6421-7903

充実の厚生施設やイベントで、明日の英気を。

当院では毎年、国内外の院内旅行を実行しているほか、
保養所等の厚生施設やイベントの充実に努めています。
リフレッシュすることで、新たな意欲を生み出しながら、
日々向上心を持って働くことができるように考えております。

玄海サンセット

湯布院

九重

那須

ベイコートクラブ

院内保育施設「なかよし」

病院隣接、オール電化の快適な宿舎。

病院に隣接する寮は平成 28 年7月に完成しました。
室内はフローリングに備えつけの大容量クローゼットで収納も安心。
オール電化でとても快適に生活ができます。

- 全室個室
- 1 ルーム
- 冷暖房・バス・トイレ・キッチン・給湯設備付
- 家賃は病院から補助有

※部屋数に限りがありますので先着順となります。駐車場はお問い合わせ下さい。

グループ一覧・関連施設

一般社団法人 巨樹の会(回復期病院)
八千代リハビリテーション病院
〒276-0015　千葉県八千代市米本1808番地
TEL:047-488-1555／FAX:047-488-1552
www.yachiyo-reha.com

一般社団法人巨樹の会(急性期・回復期病院)
新上三川病院
〒329-0611　栃木県河内郡上三川町上三川2360番地
TEL:0285-56-7111／FAX:0285-56-7165
www.kaminokawa-hp.jp

一般社団法人巨樹の会(回復期病院)
宇都宮リハビリテーション病院
〒321-0982　栃木県宇都宮市御幸ヶ原町43番2号
TEL:028-662-6789／FAX:028-660-1041
www.utsunomiyarh-hp.jp

一般社団法人 巨樹の会(回復期病院)
明生リハビリテーション病院
〒359-1106　埼玉県所沢市東狭山ヶ丘4丁目2681番2号
TEL:04-2929-2220／FAX:04-2939-2136
www.meisei-reha.jp

一般社団法人 巨樹の会(急性期病院)
所沢明生病院
〒359-1145　埼玉県所沢市山口5095番地
TEL:04-2928-9110／FAX:04-2924-4488
www.meisei-hp.jp

医療法人社団 緑野会(回復期病院)
みどり野リハビリテーション病院
〒242-0007　神奈川県大和市中央林間2丁目6番17号
TEL:046-271-1221／FAX:046-271-1220
www.midorino-hp.jp

一般社団法人 巨樹の会(回復期病院)
蒲田リハビリテーション病院
〒143-0015　東京都大田区大森西4丁目14番5号
TEL:03-5767-7100／FAX:03-5767-7107
www.kamata-rh.net

一般社団法人 巨樹の会(回復期病院)
小金井リハビリテーション病院
〒184-0013　東京都小金井市前原町1丁目3番2号
TEL:042-316-3561／FAX:042-316-3562
www.koganei-rh.net

一般社団法人 巨樹の会(回復期病院)
赤羽リハビリテーション病院
〒115-0055　東京都北区赤羽西6丁目37番12号
TEL:03-5993-5777 ／FAX:03-5993-5778
www.akabane-rh.jp

一般社団法人 巨樹の会(回復期病院)
松戸リハビリテーション病院
〒270-2232　千葉県松戸市和名ヶ谷1009番地の1
TEL:047-703-1555／FAX:047-703-1556
www.matsudo-reha.com

一般社団法人巨樹の会(回復期病院)
千葉みなとリハビリテーション病院
〒260-0024　千葉県千葉市中央区中央港1丁目17番18号
TEL:043-245-1555／FAX:043-245-1558
www.minato-reha.com

一般社団法人巨樹の会(回復期病院)
原宿リハビリテーション病院
〒150-0001　東京都渋谷区神宮前6丁目26番1号
TEL:03-3486-8333／FAX:03-3486-8334
www.harajuku-reha.com

一般社団法人 巨樹の会(回復期病院)
五反田リハビリテーション病院
〒141-0031　東京都品川区西五反田8丁目8番20号
TEL:03-3779-8820／FAX:03-3779-8823
www.gotanda-reha.com

一般社団法人巨樹の会(急性期病院)
新久喜総合病院
〒346-8530　埼玉県久喜市上早見418-1
TEL:0480-26-0033／FAX:0480-44-8026
www.shinkuki-hp.jp

一般社団法人巨樹の会(回復期病院)
江東リハビリテーション病院
〒136-0073　東京都江東区北砂2丁目15-15
TEL:03-6880-1555／FAX:03-6880-1556
www.koto-reha.com

社会医療法人財団 池友会(急性期病院)
福岡和白病院
〒811-0213　福岡県福岡市東区和白丘2丁目2番75号
TEL:092-608-0001／FAX:092-607-3051
www.f-wajirohp.jp

社会医療法人財団 池友会(急性期病院)
新小文字病院
〒800-0057　福岡県北九州市門司区大里新町2番5号
TEL:093-391-1001／FAX:093-391-7001
www.shinkomonji-hp.jp

社会医療法人財団 池友会(急性期病院)
新行橋病院
〒824-0026　福岡県行橋市道場寺1411番
TEL:0930-24-8899／FAX:0930-22-5551
www.shinyukuhashihospital.or.jp

社会医療法人財団 池友会(急性期病院)
福岡新水巻病院
〒807-0051　福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目2番1号
TEL:093-203-2220／FAX:093-203-2221
www.f-shinmizumaki.jp

一般社団法人 巨樹の会(急性期病院)
新武雄病院
〒843-0024　佐賀県武雄市武雄町大字富岡12628番地
TEL:0954-23-3111／FAX:0954-23-0208
www.shintakeo-hp.or.jp

社会医療法人財団 池友会(回復期病院)

香椎丘リハビリテーション病院

〒813-0002　福岡県福岡市東区下原2丁目24番36号
TEL:092-662-3200／FAX:092-662-3303
www.kashii-rh.net

一般社団法人 巨樹の会(回復期病院)

下関リハビリテーション病院

〒750-0064　山口県下関市今浦町9番6号
TEL:083-232-5811／FAX:083-232-0219
www.shimoreha.jp

社会医療法人財団 池友会

福岡和白PET画像診断クリニック

〒811-0213　福岡県福岡市東区和白丘2丁目2番76号
TEL:092-608-1166／FAX:092-608-1515
www.fwpet.net

社会医療法人財団 池友会

福岡和白総合健診クリニック

〒811-0213　福岡県福岡市東区和白丘2丁目11番17号
TEL:092-608-0138／FAX:092-607-5504
www.fw-kenshin.net

学校法人 福岡保健学院

みずまき助産院ひだまりの家

〒807-0051　福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目14番50号
TEL:093-201-7731／FAX:093-201-7741
hidamari-ie.jp

学校法人 福岡保健学院

八千代リハビリテーション学院

〒276-0031 千葉県八千代市八千代台北11丁目1番30号
TEL:047-481-7320／FAX:047-481-7321
www.yachiyo-reha.jp

学校法人 福岡保健学院

下関看護リハビリテーション学校

〒750-0025　山口県下関市竹崎町3丁目4番17号
TEL:083-222-0606／FAX:083-222-8906
www.shimonoseki-reha.jp

学校法人 福岡保健学院

小倉リハビリテーション学院

〒800-0206　福岡県北九州市小倉南区葛原東2丁目2番10号
TEL:093-473-8005／FAX:093-473-8159
www.kokura-reha.jp

学校法人 福岡保健学院

福岡水巻看護助産学校

〒807-0051　福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目14番51号
TEL:093-201-5233／FAX:093-201-5234
www.kango-mizumaki.jp

学校法人 福岡保健学院

福岡和白リハビリテーション学院

〒811-0213　福岡県福岡市東区和白丘2丁目1番13号
TEL:092-608-8600／FAX:092-608-8601
www.fukuokawajiro-reha.jp

学校法人 福岡保健学院

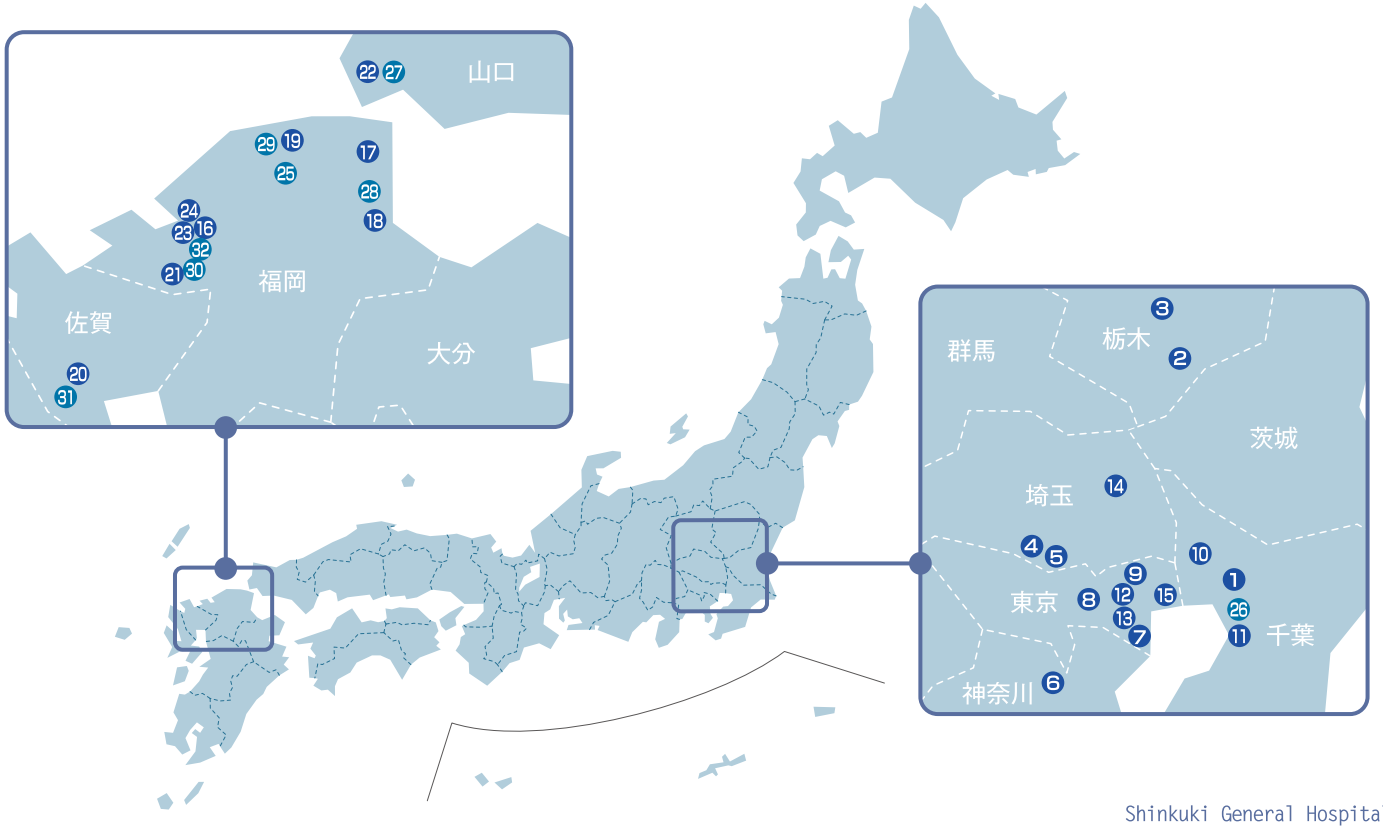
武雄看護リハビリテーション学校

〒843-0024　佐賀県武雄市武雄町大字富岡12623番地
TEL:0954-23-6700／FAX:0954-23-6710
www.takeo-nurse-reha.jp

学校法人 福岡保健学院

福岡看護専門学校

〒811-0213　福岡県福岡市東区和白丘2丁目1番12号
TEL:092-607-0053／FAX:092-607-0192
www.fukuoka-kango.jp/index.php



病院概要

開　　設：2016年4月1日
院　　長：岡崎 幸生
診療科目：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、代謝・糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、外科、心臓血管外科（新設）、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、乳腺外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科
病 床 数：300床（一般病床：194床　ICU：8床　回復期病棟：98床）
職 員 数：788名（看護師341名）
看護基準：一般：7対1　　回復期：13対1
看護単位：一般病棟4病棟・回復期病棟2病棟・ICU・HCU・手術室・外来
現　　況：外来患者数1日約400人
新規入院患者数：月約600名
入院患者の平均在院日数：10日
救急搬入患者数：月約600件
手術件数：月約220件
施設規模：構　　造：鉄筋コンクリート造
敷地面積：約38,000平方メートル
延床面積：約23,000平方メートル
階　　数：地上5階

お車の場合

県道3号、久喜市上早見の交差点を菖蒲方面に曲がり約250m(久喜ICより約3分)
駐車台数／約530台
駐車料金／外来患者様：6時間まで100円(6時間を超えた場合は1時間につき100円)
面会：1時間100円
30分以内の出庫は無料となります。

電車の場合

JR宇都宮線・東武伊勢崎線「久喜駅」西口下車、徒歩約30分またはバス約10分

バスの場合

[朝日バス]「久喜駅」西口から約10分
久西01　「菖蒲仲橋」行き「久喜総合病院前」下車
久西02　「菖蒲仲橋」行き「久喜総合病院(玄関)」下車
[久喜市市内循環バス]
「除堀・所久喜循環」→「久喜総合病院前」下車
「六万部・北中曽根循環」→「久喜総合病院前」下車

一般社団法人 巨樹の会

新久喜総合病院

〒346-8530　埼玉県久喜市上早見418-1

TEL 0480-26-0033

受付時間 AM 8:30～11:30／PM 14:00～17:00
※但し、急患の場合は24時間診療いたします。
E-mail：info@shinkuki-hp.jp
URL：www.shinkuki-hp.jp

[施設基準]

＜基本診療料＞

一般病棟入院基本料7対1（194床）、回復期リハビリテーション病棟入院料3（98床）、特定集中治療室管理料4、感染防止対策加算1、医療安全対策加算1、診療録管理体制加算1、病棟薬剤業務実施加算1、退院支援加算2、医師事務作業補助体制加算1（100対1補助体制加算）、療養環境加算（140床）、超急性期脳卒中加算、データ提出加算2イ（200床以上）

＜特掲診療料＞

検体検査管理加算（Ⅳ）、脳血管疾患等リハビリテーション（Ⅰ）、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、呼吸器リハビリテーション（Ⅰ）、心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）、がん患者リハビリテーション料、CT撮影及びMRI撮影（CT64列以上、CT4列以上16列未満、MRI1.5テスラ以上3テスラ未満）、冠動脈CT撮影加算、心臓MRI撮影加算、高エネルギー放射線治療、画像診断管理加算1、画像診断管理加算2、薬剤管理指導料、神経学的検査、医療機器安全管理料1、透析水質確保加算2、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、体外衝撃波胆石破砕術、体外衝撃波腎・尿管結石破砕術、大動脈バルーンパンピング法、麻酔管理料（Ⅰ）、輸血管理料Ⅱ、輸血適正使用加算、がん治療連携指導料、がん患者指導管理料3、がん性疼痛緩和指導管理料、外来化学療法加算1、HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）、病理診断管理加算1、院内トリアージ実施料、無菌製剤処理料、人工肛門・人工膀胱増設術前処置加算、抗悪性腫瘍剤処方管理加算、医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術

＜その他＞　入院時食事療養（Ⅰ）

[各種指定・認定]

＜各種指定＞

- 救急告示病院
- 労災指定病院
- 生活保護指定病院
- 輪番制2次救急病院
- 結核予防指定病院
- 更生医療指定病院
- 原爆医療指定病院
- 戦傷病者特別措置法指定病院
- 公害健康被害補償法指定病院
- 災害拠点病院
- 日本急性血液浄化学会認定指定施設
- 埼玉県立がんセンター医療提携施設
- 埼玉県がん診療指定病院

＜教育研修病院認定施設＞

- 日本内科学会認定教育関連病院
- 日本乳がん学会認定関連施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院
- 日本脳神経外科学会研修施設
  （基幹病院：防衛医科大学校脳神経外科）
- 日本外科学会外科専門医制度関連施設
- 日本救急医学会認定専門医指定施設
- 日本泌尿器科学会認定教育施設
- 日本麻酔科学会認定研修施設
- 日本がん治療認定医機構研修施設
- 日本形成外科学会認定教育関連施設
- 日本高血圧学会高血圧認定研修施設

2017.6